

杉原ウィーク2024・第25回杉原千畝記念短歌大会作品選考結果

(学生の部)

人道大賞	曾祖母が逃げてくれたから今があるきのこ雲の話はもう聞けない	中川慶乃	愛知県立瑞陵高等学校2年
------	-------------------------------	------	--------------

(一般の部)

人道大賞	かく大きな雷鳴を爆撃と思はで我ら飯を食みをり	前川泰信	岐阜県可児市
------	------------------------	------	--------

(小学生の部)

	句	氏名	学校
愛 賞	へいきよりへいわがほしい願っても聞こえた声は人のひめいだ	山本茉夕莉	伊丹市立荻野小学校6年
愛 賞	AIが便利になっているけれど人の心は分かるのだろうか	池井戸優杏	八百津町立久田見小学校4年
心 賞	ウクライナ家族とはなれた人を知りぼくのふつうが平和と気づく	井戸更杜	八百津町立久田見小学校4年
心 賞	がまんしたあなたが勝ちよとけんかした私を母がぎゅっとだきしめ	日比野陽向	八百津町立和知小学校6年
勇気賞	しあわせはにげたりきたりおにごっこいつもやってるおいかけるやく	安藤怜良	八百津町立錦津小学校4年
勇気賞	塩むすび米の甘さを噛みしめて本のあの子に分けたいと願う	乗木萌々笑	立教女学院小学校6年
佳 作	命はね一つしかない戦争は命を使って戦っている	伊左治大和	八百津町立錦津小学校4年
佳 作	平和はあたり前のことじゃない命をうばって平和になったよ	伊藤玲奈	八百津町立和知小学校6年
佳 作	家族だからはずかしくて言えないが感謝の気持ちはこの空くらい	遠藤優真	八百津町立和知小学校6年
佳 作	ブランコがそらにういたよきれいだなつぎはきみだよぼくのともだち	伊藤琉馬	八百津町立久田見小学校4年
佳 作	せんそうをしらないぼくにしあわせと言うばばの目になみだながれる	田中巧一	小川町立みどりが丘小学校3年
奨励賞	友達とえがおいっぱい登下校いつもの道がかがやいている	井戸桜李	八百津町立久田見小学校5年
奨励賞	昔はね、笑えないほど酷いことがあるでも今は笑っているよ	大澤 麗	八百津町立錦津小学校6年
奨励賞	手をつなぐあなたと私手をつなぐ世界に平和つないでく	友森千智	伊丹市立荻野小学校6年
奨励賞	ともだちとけんかをしたらちくちくしごめんねしたらばかばかしたよ	佐合りこ	八百津町立八百津小学校1年
奨励賞	千畝さん命をかけた決心で六千人の命がのこる	大路祥平	名古屋市立平和小学校4年
奨励賞	牛さんの命をいただくぼく達はのこさず食べよう。いつも、ありがとう。	赤塚栄介	八百津町立錦津小学校4年
奨励賞	戦争で帰らない人たくさんだ仲間の足音おかえりなさい	岩井陽葵	八百津町立錦津小学校5年
奨励賞	家族ではけんかはするが戦争しない家族でみんななかよくくらす	井川梨那	八百津町立八百津小学校4年
奨励賞	戦争はどこから来たの戦争は命が消えるのどうしてなの	伊佐治瑠依	八百津町立八百津小学校6年
奨励賞	道ばたにありの列が並んでる小さな命も残してこう	武市帆高	八百津町立八百津小学校5年

(中学生の部)

	句	氏名	学校
愛 賞	教科書にびっしり載ってる用語たちきつと誰かの生きた証	岡田寧彩	羽島市立竹鼻中学校3年
愛 賞	やわらかな笑顔がひかるこの家にも賞味期限はついていますか	木村理子	立命館慶祥中学校3年
心 賞	水面に映る笑顔がゆれている今日も世界にあふれる笑顔	米崎しおん	豊中市立第十一中学校1年
心 賞	傘をさし降りしきる雨走りぬけ「黒い雨なら」そう考えた	長谷部望実	立命館慶祥中学校3年
勇気賞	長崎に生きているから伝えたい青空隠したあの雨のこと	冨田彩貴	佐世保市立日野中学校3年
勇気賞	原爆の記念館へと学年で行けば写真に怯える僕だ	沖田乙仁	光市立光井中学校1年
佳 作	ひまわりのような笑顔で笑う君自然にみんな笑顔あふれる	田原萌那	川辺町立川辺中学校2年
佳 作	平和とは差別や違い認め合い心の底から笑えることだ	井戸 要	川辺町立川辺中学校3年
佳 作	僕は今普通の暮らしをしているがそれ特別と思う人がいる	橋本桔平	立命館慶祥中学校3年
佳 作	増えてきたマスクなしのアルバムがコロナ前を思い出しちゃう	大生あみる	川辺町立川辺中学校3年
佳 作	ゾウさんは小さき人を踏まないが人間は踏む小さきアリを	高橋虎太郎	茨城県立下館第一高等学校附属中学校2年
奨励賞	春風と桜花 ^{おうか} 見上げて木漏れ日の願い届けと花のひとひら	伊藤尚槻	羽島市立竹鼻中学校3年
奨励賞	自分って一回きりの贈りもの育む命切り拓く道	柴田真佑	羽島市立竹鼻中学校3年
奨励賞	日常が簡単に去る恐ろしさ戦争をして誰が笑顔に	櫻井鳳琉	川辺町立川辺中学校3年
奨励賞	地球にはとこところどころにヒビがありヒビを直すのぼくらの役目	佐藤遙仁	明治学園中学校1年
奨励賞	トクトクトクトクトクトク深呼吸の小さきいのち	飯村佳歩	茨城県立下館第一高等学校附属中学校2年
奨励賞	命とははかないものでもろいもの時には強く時には熱い	諸井まりな	羽島市立竹鼻中学校3年
奨励賞	部活の日窓から見える運動部声が聞こえるいちにさんよん	黒岩夏帆	川辺町立川辺中学校2年
奨励賞	小満の夕日が照らすあの町はあかく染まっただいすきなまち	藤井香帆	川辺町立川辺中学校2年
奨励賞	この時もうばわれてゆくのちたち遠くてぼくは救えないのか	徳永淳志	豊中市立第十一中学校1年
奨励賞	人に向けライフル放つロボットの犬が仲間かそれが進化か	有賀那紡	八百津町立八百津中学校3年

(高校生の部)

	句	氏名	学校
愛 賞	生きているきみがいるから生きていく朝なぎにぼくらこぎゆく今を	池島夕和	福岡大学附属大濠高等学校3年
愛 賞	空見上げいつもと変わらぬ青空がいつまでも変わらぬ額縁ではない	岩田紗弥	愛知県立瑞陵高等学校2年
心 賞	避難所で配った大きな蜜柑箱両手にかかる命の重み	元木啓徳	成城高等学校2年
心 賞	一度昇ったはずの太陽が落ちてきた朝、8時のヒロシマ	堀 美晴	愛知県立瑞陵高等学校2年
勇気賞	中東の乾いた闇にさす光霞の向こうに寛容の月	乗木日子笑	立教女学院高等学校3年
勇気賞	道端に咲いてる花の根を通じ世界はきつと繋がっている	安中裕哉	成城高等学校2年
佳 作	夏の朝花に水やりしていたら一瞬の光何も残さず	岡 千都	愛知県立瑞陵高等学校2年
佳 作	私たち生まれた場所が違っただけ私は学校あの子は戦争	稲垣志保	愛知県立瑞陵高等学校2年
佳 作	色あせた写真の彼女は同い年思いをはせるひめゆりの塔	友近優里	愛知県立瑞陵高等学校2年
佳 作	明日やろう思ったときにふと気づく明日が消えた朝があること	橋本朱華	安田女子高等学校2年
佳 作	戦争中の遠い国遠い日本から考える今私にできることは何だろう	脇川千里	徳島県立脇町高等学校3年
奨励賞	平和とは何かを少し考える布団から出て何気ない朝	矢波遥斗	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	わかる、とは言えぬ誰かの痛みへとせめて折り紙のふちをそろえる	松坂希和	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	フリックで指を動かし研いだナイフにかかる時間はたった数秒	大津栞理	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	匍匐する幼なきいとこ見ぬうちに背にはランドセル頭に黄帽子	中西壮太	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	ボールペンないと呟き顔上げる差し出される手の数に驚く	南口大和	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	一度は聞いてみたい「今日は動物ハプニングニュースのみです」	吉田裕貴	成城高等学校2年
奨励賞	ミサイルのニュース聞いても他人事これはいいのかこれでいいのか	高木彩花	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	蟬時雨強き光に消されてく始まろうとする一日と共に	溝口佳那子	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	利に因りて兵器を造る惨い手は握手もできる温和な手なり	鈴木絢也	成城高等学校2年
奨励賞	泣きながら何も知らずに死んだ子と私は一緒に生きてみたい	松井木暖	愛知県立杏和高等学校1年

(一般の部)〔大学生を含む〕

	句	氏名	住所
愛 賞	駅ピアノを弾き終え静かに青年は故国にもどり兵役につくと	新井よね子	東京都江戸川区
愛 賞	オキナワは基地の島なり基地のなか虹は気ままに金網またぐ	比嘉道子	沖縄県北中城村
心 賞	人道の道を歩いて考えるガザイスラエルそして千畝氏	幅 茂	愛知県名古屋市
心 賞	法衣着た人が「聖なる戦い」と諭した途端ふるえる地球	森下睦恵	岐阜県山県市
勇気賞	征く父を送りし駅は無人駅銀杏の末に山鳩がゐる	森元輝彦	山口県周南市
勇気賞	啄木の「五月一日我らの日なり」言葉噛みしめ小雨にデモる	鹿田のぼる	三重県松阪市
佳 作	「行って来ます」「行って帰りんさい」子らが光に消えて七十九年	田中邦博	東京都新宿区
佳 作	子育ての最後の旅は式典の準備が進む広島を選ぶ	太田君江	宮城県山元町
佳 作	地球儀で遊ぶ我が子はまだ知らぬ国境あること戦争あること	丸山晃央	埼玉県川口市
佳 作	< 平和特集 > 好きな言葉を切り抜けば紙面の裏の戦車ズタズタ	熊崎佐千子	岐阜県岐阜市
佳 作	殺された鳥の羽毛に包まれて眠る私は死に生かされる	てと	青森県八戸市
奨励賞	戦争を知らない世代に生まれ来て戦争だらけの朝刊を読む	和田 康	奈良県奈良市
奨励賞	かなしさも悔やしさも又やすらぎも裡に棲み居て時折さわぐ	志堅原喜代子	沖縄県那覇市
奨励賞	みなさんをお願いします戦争を消し去るための白い消しゴム	飯島準子	埼玉県春日部市
奨励賞	日記すら書けないほどに平穏で僕らは剣もペンさえも取らず	時野谷琉華	静岡県菊川市
奨励賞	初春に笑顔広がる祖母の家緊急速報「逃げてください」	伊藤さあや	愛知県阿久比町
奨励賞	二度三度目が合っていた黒い犬玄関前に寝そべっていた	三吉 誠	福岡県福岡市
奨励賞	「できるだけごゆりりと来てください」と母へ遺しし兵士の手紙	勝俣文子	東京都千代田区
奨励賞	泣きもせず怒るでもなく古鍋を掲げて食を求むガザの子	白木キクヘ	岐阜県八百津町
奨励賞	誰もみなおなじ空は見えていない頭上に広がるこの群青も	岡嶋祐衣奈	愛知県春日井市
奨励賞	ピカドンの光は今も宙を往く広い宇宙のほんの近くを	杉山 昭	愛知県一宮市

(学校賞)

学校賞 愛知県立瑞陵高等学校

学校奨励賞 羽島市立竹鼻中学校

学校奨励賞 八百津町立久田見小学校

(町内学校優秀賞)

	句	氏名	学校
八百津小学校	戦争でいろんな人が消えてしまうみんななかよく生きていこう	古瀬直杜	八百津町立八百津小学校4年
錦津小学校	じいさんはもう天国に行ったけど多分天国で笑っているよ	渡邊実唯	八百津町立錦津小学校6年
和知小学校	平和の花いつさくのかかわからないあしたの朝にさけばいいのに	西山直輝	八百津町立和知小学校6年
久田見小学校	いつもの日いそがしいけどたのしいなこれがわたしのすきなまいにち	今井愛恵	八百津町立久田見小学校4年
八百津東部中学校	山の奥広がる棚田と田舎道青く濃い空あなたの笑顔	柘植歩真	八百津町立八百津東部中学校3年
八百津中学校	平和だとみんなの笑顔が見えるんだ僕はみんなの笑顔がみたい	小酒井悠斗	八百津町立八百津中学校2年
八百津中学校	平和だねみんなで過ごす楽しい日ダリアのように感謝言おう	安藤帆志乃	八百津町立八百津中学校2年